

厚生労働省委託事業（受託者：公益財団法人原子力安全技術センター）

放射線被ばく管理に関する マネジメントシステム 導入支援のご案内

参加無料

令和3年4月から、職業被ばくにおける眼の水晶体に受ける等価線量の新たな限度値が施行されました。医療機関においては、従来のものから引き下げられた新たな限度値に対応するとともに、医療従事者の被ばく低減に取り組むことが求められています。しかしながら、厚生労働省が令和2年度に行った自主点検では、回答があった医療機関の約3割で法令で必要とされる個数の線量計を配付していないなど、放射線管理に関する課題があることが明らかになりました。

この事業では、放射線業務を行う医療機関を対象に、研修と個別支援を通じて、放射線業務に従事する医療従事者の被ばく低減のためのマネジメントシステム（以下「放射線MS」といいます。詳しくは裏面をご覧ください）について説明し、貴事業場における放射線管理体制の強化を支援します。

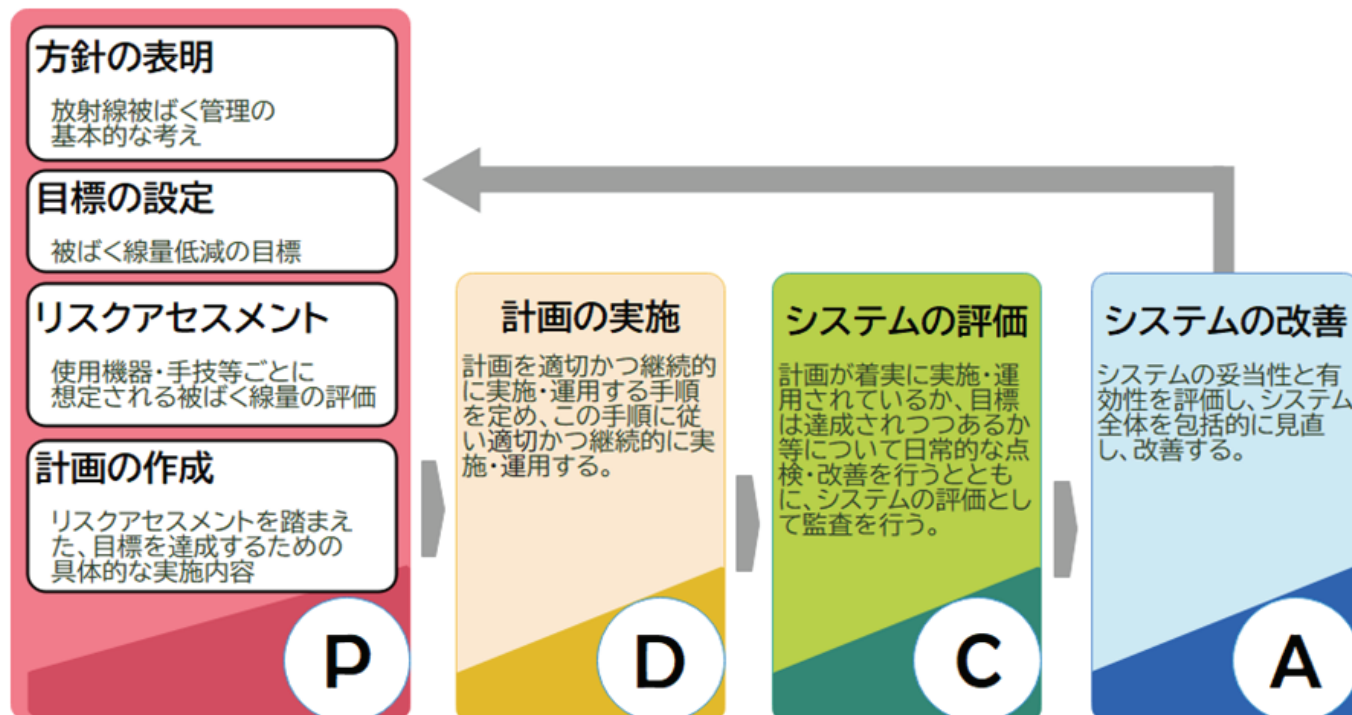
参加は無料です。この機会にぜひ、ご参加ください。

支援の概要

支援期間	令和3年8月～令和4年3月	
開催方法	研修は、オンライン形式（ZOOMを使用）で行います。	
参加申込期間	令和3年7月9日（金）～令和3年8月6日（金） 特設Webサイトからお申込ください。（裏面をご覧ください）	
申込コース		
コース名称	新規参加コース	前年度参加コース
対象	はじめて参加する事業場 前年度参加した事業場も申込可能ですが、申込多数の場合ははじめて参加する事業場を優先することがあります。	前年度参加した事業場（このコースに参加しても新規参加コースの研修（第1回～3回）にも参加可能です。）
募集数	両コース合わせて400事業場程度 申込み多数の場合は選考をさせていただくことがあります。	
研修の開催	9月～10月の間で3回開催	11月に2回開催
第1回	放射線MSの基本、リスクアセスメントの考え方等	被ばく線量のリスクアセスメントなど前年度参加機関での放射線MSの取組に関する事例発表、意見交換
第2回	年間目標、年間計画の設定等	
第3回	監査、システム改善等	-
個別支援	希望される医療機関には、放射線MSの導入について個別支援を行います。（最大60事業場程度、申込み多数の場合は選考させていただきます。）	
報告会	参加事業場による取組の好事例等の発表	

放射線被ばく管理マネジメントシステムの概念

この研修で皆様にご説明する放射線被ばく管理マネジメントシステムは、労災疾病臨床研究補助金事業「不均等被ばくを伴う放射線業務における被ばく線量の実態調査と線量低減に向けた課題評価に関する研究」の研究成果によるものです。



お申込み・お問合せ先・特設Webサイトはこちらから

特設Webサイト <https://ms.nustec.org/>

日程等の最新情報は、特設Webサイトでご確認ください。

電話 : 03-3830-0720 (MS事業係直通)
受付時間 : 10:00~12:00・13:00~17:00 (土・日・祝日・創立記念日除く)
メール : ms-jimukyoku@nustec.or.jp

公益財団法人原子力安全技術センター 原子力安全部 MS事業係
〒112-8604 東京都文京区白山5-1-3-101 東京富山会館ビル

本事業は、厚生労働省の委託業務として、公益財団法人原子力安全技術センターが、次の機関の協賛・協力を得て、実施するものです。

協賛

公益社団法人日本診療放射線技師会

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会

協力

産業医科大学